

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	人工股関節置換術施行患者における周術期の栄養状態が入院期間に与える影響についての単施設観察研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部整形外科学 講師 福島 健介
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>人工関節全置換術は主に変形性股関節症に対して行われる治療法でありその有効性および安全性はこれまで多くの研究論文によって報告されています。変形性股関節症に対してとても有効な治療法ですが、入院、治療リハビリにかかるコストは大きく入院期間の短縮は重要です。入院期間が増加する原因としてリハビリの遅延や合併症(創部感染症や創部癒合遷延、深部静脈血栓症など)が挙げられ、それら合併症を防ぐ事は入院期間の短縮につながります。栄養状態を客観的に評価するツールとしてCONUTスコア知られており、当院整形外科においては術前血液検査で数値化しています。CONUT スコアは外科領域において術後創部感染の発生率に影響を与える事が分かっています。</p> <p>今回、術前の CONUT スコアや術後食事摂取量、術後血液検査データが入院期間や合併症に寄与するかどうかを調査します。</p>
調査データ 該当期間	2020年1月1日から2023年4月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院で人工股関節全置換術を施行された患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>2020年1月1日から2023年4月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、血液検査データを利用します。</p>
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は整形外科学の教室研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されています。
お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p>

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属・職位:医学部整形外科学 講師

担当者:福島 健介(フクシマ ケンスケ)

電 話:042-778-8111(北里大学病院代表)

備 考